



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月14日

上場会社名 株式会社タクマ 上場取引所 東  
コード番号 6013 URL <https://www.takuma.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南條 博昭  
問合せ先責任者(役職名) 経営企画本部 (氏名) 小林 寛幸 (TEL) 06-6483-2602  
広報・IR部長  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	106,395	1.5	8,709	39.0	9,336	31.6	7,242	46.4
2024年3月期第3四半期	104,852	4.2	6,264	△32.0	7,095	△29.0	4,947	△29.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 6,645百万円(△22.9%) 2024年3月期第3四半期 8,622百万円( 14.6%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第3四半期	91.66	—	—	—
2024年3月期第3四半期	61.85	—	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	178,712	109,799	61.0
2024年3月期	191,180	111,000	57.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 109,041百万円 2024年3月期 110,341百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2024年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00	—
2025年3月期	—	28.00	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	38.00	66.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	150,000	0.6	13,500	32.0	14,000	25.4	10,300	17.7	131.00	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、2024年5月14日開催の取締役会において、自己株式の取得及び消却について決議いたしました。さらに、2025年2月14日開催の取締役会において、自己株式の取得及び消却について決議いたしました。2025年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、自己株式の取得及び消却の影響を考慮しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社(社名) 行田羽生ハイトラスト(株)  
除外 0社

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細は、添付資料の11ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	83,000,000株	2024年3月期	83,000,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	5,266,262株	2024年3月期	2,978,525株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	79,018,054株	2024年3月期3Q	79,994,560株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の6ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等の注記)	12
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12
(重要な後発事象)	13
3. 予想補足資料	14
(1) セグメント別連結業績予想	14
(2) 連結設備投資額、減価償却費及び研究開発費予想	14
4. 補足資料	15
環境・エネルギー(国内)事業の内訳	15

## 1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

## (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

(単位：百万円)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間				前年同期比増減額		
	受注高	売上高	営業損益	受注残高	受注高	売上高	営業損益
環境・エネルギー(国内)事業	171,674	79,457	8,309	552,240	56,642	△3,697	1,759
環境・エネルギー(海外)事業	1,587	4,142	801	3,312	△246	2,490	758
民生熱エネルギー事業	16,327	14,271	1,088	8,170	1,463	757	192
設備・システム事業	6,416	8,874	508	8,153	△341	2,045	△113
計	196,005	106,745	10,707	571,877	57,517	1,595	2,597
調整額	△360	△350	△1,997	△14	△96	△52	△152
合計	195,644	106,395	8,709	571,862	57,421	1,542	2,445

当社グループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、受注高は主に環境・エネルギー(国内)事業の増加により前年同期に比べ57,421百万円増加の195,644百万円、売上高は環境・エネルギー(国内)事業で減少したものの、その他のセグメントでいずれも増加し1,542百万円増加の106,395百万円となりました。

損益面においては、主に環境・エネルギー(国内)事業の増益により、前年同期に比べ営業利益は2,445百万円増加の8,709百万円、経常利益は2,240百万円増加の9,336百万円、増益に加え投資有価証券売却益の計上もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,294百万円増加の7,242百万円となりました。

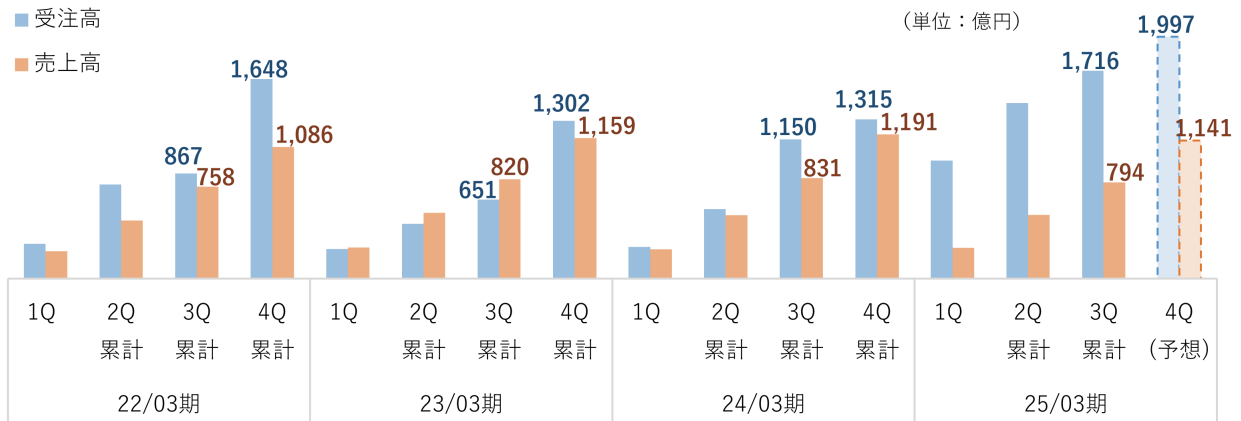
セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[環境・エネルギー(国内)事業]

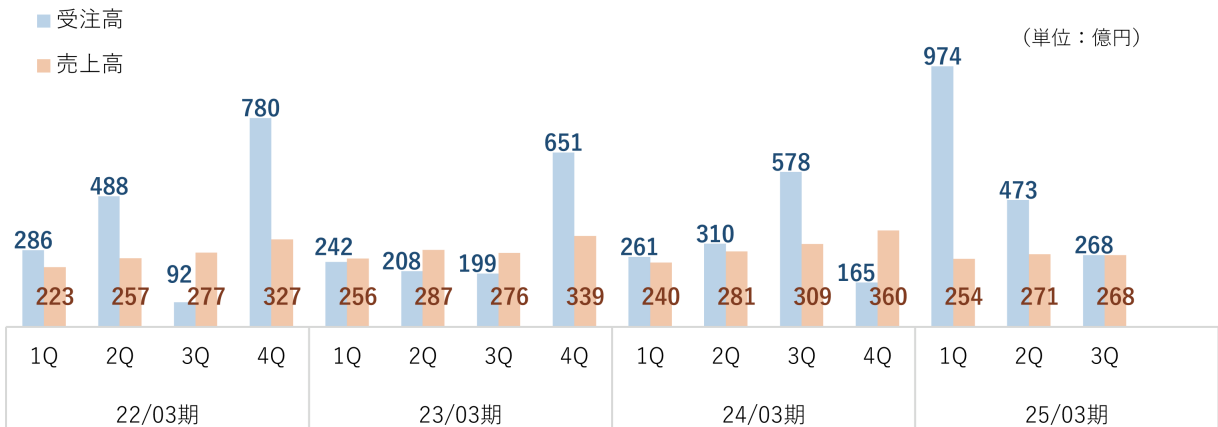
当第3四半期連結累計期間においては、ごみ処理プラントのDBO事業(建設・運営事業)2件、基幹改良工事1件、バイオマス発電プラントの新設3件、下水汚泥焼却発電プラント1件などを受注し、受注高は前年同期※に比べ56,642百万円増加の171,674百万円となりました。また、売上高は主にEPC事業における案件構成の変化により前年同期に比べ3,697百万円減少の79,457百万円となったものの、前第2四半期連結会計期間に計上したごみ処理プラント(ガス化溶融炉)のO&Mにおける対策費用の影響解消やアフターサービスの増加等により営業利益は1,759百万円増加の8,309百万円となりました。

※ 前年同期の主な受注：ごみ処理プラントのDBO事業1件、エネルギープラントの新設7件、下水処理場向け砂ろ過設備の大型更新工事1件、汚泥焼却発電プラント1件など

《受注・売上推移(四半期累計)》



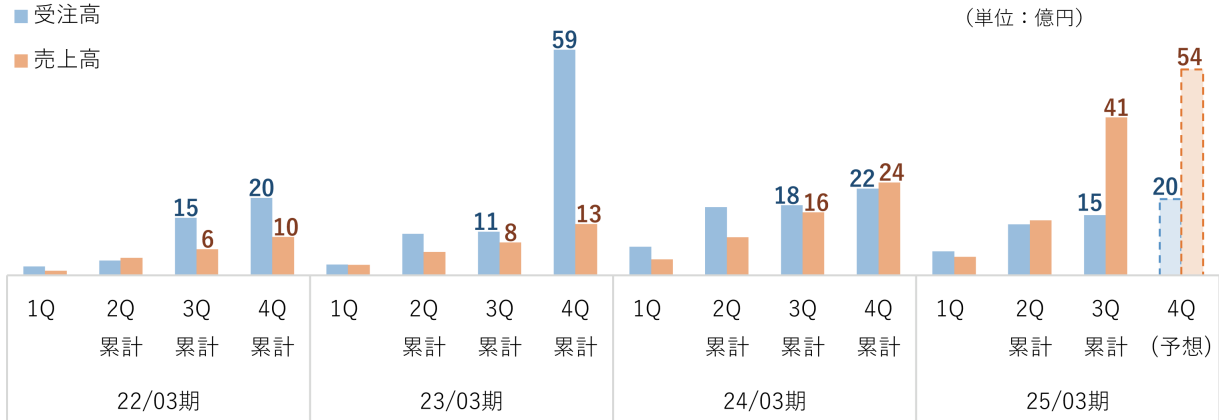
《受注・売上推移(四半期毎)》



[環境・エネルギー(海外)事業]

当第3四半期連結累計期間においては、受注高は新設プラント案件の追加受注があった前年同期に比べ246百万円減少の1,587百万円となりました。一方、受注済みプラントの進捗等により、売上高は前年同期に比べ2,490百万円増加の4,142百万円、営業利益は758百万円増加の801百万円となりました。なお、営業利益のうち約2億円は、海外子会社との取引高消去に伴う為替換算差額によるものであり、同額が営業外費用の為替差損として調整されています。

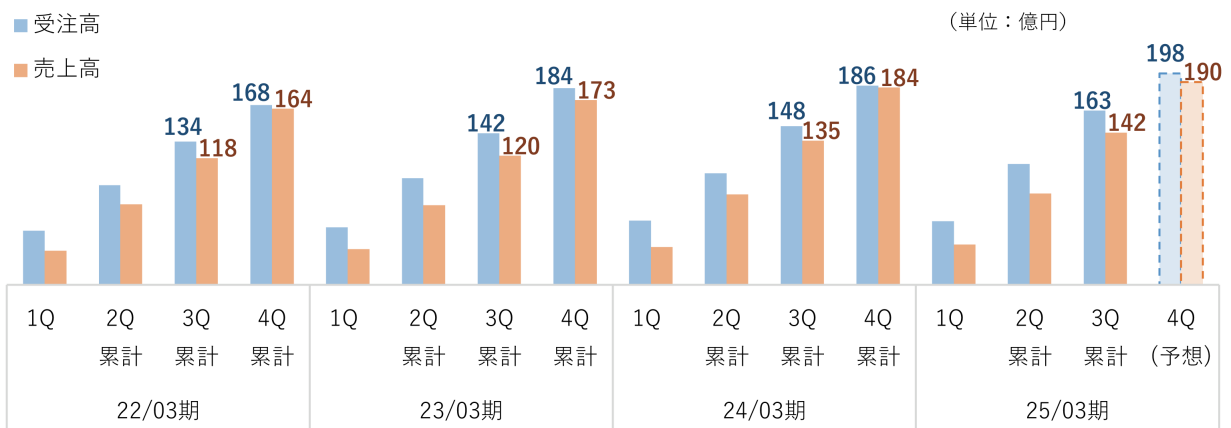
《受注・売上推移(四半期累計)》



[民生熱エネルギー事業]

当第3四半期連結累計期間においては、需要は緩やかな回復傾向が継続し、受注高は前年同期に比べ1,463百万円増加の16,327百万円となりました。また、受注済み案件の進捗等により、売上高は前年同期に比べ757百万円増加の14,271百万円、営業利益は192百万円増加の1,088百万円となりました。

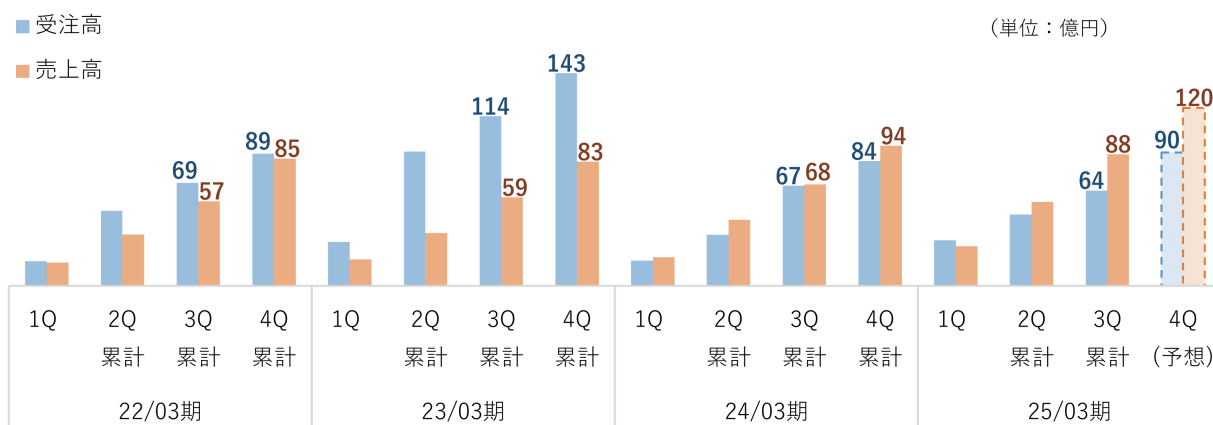
《受注・売上推移(四半期累計)》



## [設備・システム事業]

当第3四半期連結累計期間においては、受注高は建築設備、半導体産業用設備のいずれも減少し、前年同期に比べ341百万円減少の6,416百万円となりました。一方、売上高は主に受注済みの建築設備工事の進捗により、前年同期に比べ2,045百万円増加の8,874百万円となりましたが、案件構成の変化により、営業利益は113百万円減少の508百万円となりました。

## 《受注・売上推移（四半期累計）》



## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は178,712百万円と前連結会計年度末に比べ12,467百万円の減少となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が16,330百万円の減少となったことによるものであります。

負債は68,913百万円と前連結会計年度末に比べ11,266百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、電子記録債務があわせて5,514百万円の減少となったほか、契約負債が2,528百万円の減少となったことによるものであります。

純資産は109,799百万円と前連結会計年度末に比べ1,200百万円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が3,118百万円の増加となったものの、自己株式の取得により自己株式が3,732百万円の減少、その他有価証券評価差額金が804百万円の減少となったことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は61.0%と前連結会計年度末に比べ3.3ポイントの増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

【通期受注・売上見通し】

(単位：億円)

	期首計画 (①)		直近見通し (②)		差異 (②-①)	
	受注高	売上高	受注高	売上高	受注高	売上高
環境・エネルギー(国内)事業	1,987	1,094	1,997	1,141	+ 10	+ 47
環境・エネルギー(海外)事業	40	50	20	54	△ 20	+ 4
民生熱エネルギー事業	188	186	198	190	+ 10	+ 4
設備・システム事業	90	105	90	120	-	+ 15
計	2,305	1,435	2,305	1,505	-	+ 70
調整額	△ 5	△ 5	△ 5	△ 5	-	-
合計	2,300	1,430	2,300	1,500	-	+ 70

老朽化したごみ処理プラントの更新や延命化対策、エネルギー政策を背景としたバイオマス発電プラントの建設など当社グループの主要製品には引き続き需要が見込まれております。一方で、資機材価格の上昇や納期の長期化など、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況の下、当社グループの2025年3月期の業績につきましては、受注高は、環境・エネルギー(海外)事業において減少を見込むものの、環境・エネルギー(国内)事業および民生熱エネルギー事業において増加を見込み、230,000百万円と従前の予想から変更ありません。一方、売上高および損益面は、環境・エネルギー(国内)事業において受注済みプラントの建設工事が順調に進捗しているほか、メンテナンスなどのストック型ビジネスが順調に伸びており、また、その他のセグメントにおいても着実に収益を伸ばしていることから、売上高は150,000百万円、営業利益は13,500百万円、経常利益は14,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は10,300百万円といずれも従前の予想を上回る見通しです。

また、2025年3月期の期末配当予想につきましては、従前の予想の28円から10円増額の1株当たり38円とさせていただきます。これにより、当期の年間配当金は、1株当たり66円(うち中間配当金28円)となる予定です。

なお、上記の修正につきましては、本日(2025年2月14日)「2025年3月期業績予想の修正及び配当予想の修正(増額)に関するお知らせ」として開示しております。

当社グループでは、通常の事業形態として、納期が連結会計年度末直前となる工事が多く、第4四半期にかけて進捗、引渡しが多くなる傾向にあり、業績においても第4四半期での売上高が他の四半期と比較して大きくなるなど季節的変動が大きいことから、業績管理については年次のみで行うこととしております。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	45,337	39,874
受取手形、売掛金及び契約資産	78,979	62,649
棚卸資産	9,740	15,251
その他	5,434	4,018
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	139,477	121,777
固定資産		
有形固定資産	19,579	18,921
無形固定資産	900	858
投資その他の資産		
投資有価証券	24,567	23,758
その他	6,790	13,531
貸倒引当金	△135	△135
投資その他の資産合計	31,222	37,155
固定資産合計	51,702	56,935
資産合計	191,180	178,712

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,517	21,616
電子記録債務	16,896	16,282
短期借入金	753	1,106
未払法人税等	2,301	1,070
契約負債	10,803	8,275
賞与引当金	4,370	2,405
製品保証引当金	183	178
工事損失引当金	1,352	1,105
その他	5,022	4,668
流動負債合計	68,201	56,709
固定負債		
役員退職慰労引当金	263	233
退職給付に係る負債	11,178	11,581
その他	535	389
固定負債合計	11,978	12,204
負債合計	80,179	68,913
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,367	13,367
資本剰余金	3,886	3,909
利益剰余金	86,960	90,079
自己株式	△3,827	△7,560
株主資本合計	100,387	99,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,837	9,032
繰延ヘッジ損益	20	80
為替換算調整勘定	136	143
退職給付に係る調整累計額	△40	△11
その他の包括利益累計額合計	9,953	9,245
非支配株主持分	658	757
純資産合計	111,000	109,799
負債純資産合計	191,180	178,712

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	104,852	106,395
売上原価	84,813	83,566
売上総利益	20,039	22,828
販売費及び一般管理費	13,774	14,119
営業利益	6,264	8,709
営業外収益		
受取利息	18	40
受取配当金	610	679
持分法による投資利益	110	45
その他	142	161
営業外収益合計	882	927
営業外費用		
支払利息	1	3
コミットメントフィー	21	21
為替差損	-	221
その他	28	54
営業外費用合計	51	301
経常利益	7,095	9,336
特別利益		
投資有価証券売却益	486	765
特別利益合計	486	765
特別損失		
新工場建設関連費用	438	-
その他	63	-
特別損失合計	501	-
税金等調整前四半期純利益	7,079	10,101
法人税等	2,061	2,746
四半期純利益	5,018	7,354
非支配株主に帰属する四半期純利益	70	111
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,947	7,242

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	5,018	7,354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,602	△804
繰延ヘッジ損益	△72	60
為替換算調整勘定	38	6
退職給付に係る調整額	35	29
その他の包括利益合計	3,603	△708
四半期包括利益	8,622	6,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,542	6,534
非支配株主に係る四半期包括利益	79	110

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

① 連結の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間より、新たに設立した行田羽生ハイトラスト(株)を連結の範囲に含めております。

② 持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、新たに設立した米沢バイオエナジー(同)を持分法適用の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,362,200株の取得を行っております。この結果、単元未満株式の買取による取得等も含め、当第3四半期連結累計期間において自己株式が3,732百万円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)として繰り延べております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境・ エネルギー (国内)事業	環境・ エネルギー (海外)事業	民生熱 エネルギー 事業	設備・ システム 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	82,933	1,617	13,475	6,825	104,852	—	104,852
セグメント間の内部売上高 又は振替高	221	34	38	2	297	△297	—
計	83,154	1,652	13,513	6,828	105,150	△297	104,852
セグメント利益	6,549	43	895	621	8,109	△1,845	6,264

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,845百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,974百万円及びその他の調整額129百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境・ エネルギー (国内)事業	環境・ エネルギー (海外)事業	民生熱 エネルギー 事業	設備・ システム 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	79,140	4,138	14,244	8,872	106,395	—	106,395
セグメント間の内部売上高 又は振替高	316	4	26	2	350	△350	—
計	79,457	4,142	14,271	8,874	106,745	△350	106,395
セグメント利益	8,309	801	1,088	508	10,707	△1,997	8,709

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,997百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,132百万円及びその他の調整額135百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,297百万円	1,418百万円

## (重要な後発事象)

当社は、2025年2月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議するとともに、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議いたしました。

## 1. 自己株式の取得及び自己株式の消却を行う理由

資本効率の向上並びに株主還元の充実のため、自己株式の取得及び消却を実施いたします。

## 2. 取得に係る事項の内容

- |                |  |
|----------------|--|
| (1) 取得対象株式の種類  | 普通株式   |
| (2) 取得し得る株式の総数 | 9,000,000株(上限)<br>(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合11.59%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 10,000,000,000円(上限)                              |
| (4) 取得期間       | 2025年2月17日～2026年2月16日                            |
| (5) 取得方法       | 市場買付   |

## 3. 消却に係る事項の内容

- |              |                     |
|--------------|---------------------|
| (1) 対象株式の種類  | 普通株式                |
| (2) 消却する株式の数 | 上記2により取得した自己株式の全株式数 |
| (3) 消却予定日    | 2026年3月31日          |

## 3. 予想補足資料

## (1) セグメント別連結業績予想

(単位：百万円)

セグメントの名称	2025年3月期(予想)		
	受注高	売上高	受注残高
環境・エネルギー(国内)事業	199,700	114,100	545,623
環境・エネルギー(海外)事業	2,000	5,400	2,468
民生熱エネルギー事業	19,800	19,000	6,915
設備・システム事業	9,000	12,000	7,610
計	230,500	150,500	562,617
調整額	△500	△500	△4
合計	230,000	150,000	562,612

## (2) 連結設備投資額、減価償却費及び研究開発費予想

(単位：百万円)

	2024年3月期(実績)	2025年3月期(予想)	増減
設備投資額	3,527	1,600	△1,927
減価償却費	1,797	2,000	202
研究開発費	1,629	2,200	570



## 4. 補足資料

## 環境・エネルギー(国内)事業の内訳

(単位:億円)

	2025年3月期第3四半期(実績)		
	受注高	売上高	受注残高
一般廃棄物処理プラント(EPC)	532	201	1,464
一般廃棄物処理プラント(アフターサービス)	859	307	3,006
エネルギープラント	188	188	728
水処理プラント・その他	132	93	323
調整額	3	3	0
計	1,716	794	5,522